

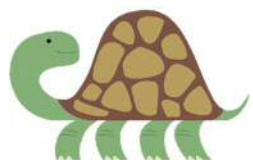
# ペットの防災対策について



東日本大震災では、自宅に取り残され飼い主とはぐれたペットが放浪するなどし、災害時のペットの扱いが大きく取り上げられました。



大きな災害が発生したときに備えて、大切なペットを守るために、飼い主は、どのように備えておけば良いのでしょうか？



(裏面をご覧ください。)



小田原市環境部環境保護課  
《住所》小田原市荻窪 300 番地  
《電話》0465 (33) 1481

災害に備えて、日頃から  
考えておいて欲しい...



## 飼い主のみなさまへのお願い

☆日頃からのしつけが大切です。

災害が発生したとき、多くの人々やたくさんのペットが避難します。避難する人の中には動物が苦手な方やアレルギーがある方もいます。飼い主が、避難の準備やしつけをしておけば、ペットが他の方から受け入れられやすくなり、飼主やペットのストレスや不安の軽減にもなります。トイレが決められた場所でできることや、ケージに入っていることなどの日頃からのしつけはとても大切なことです。

☆非難に必要な物品を用意しておきましょう。

数日分の餌、トイレ用品、ペットを入れるケージ、ペット用のタオルなど、ペットと飼い主が安心して過ごすことのできる物品も、災害に備えて準備しておく必要があります。

## 安心して避難ができるかどうか、日頃のしつけをチェックしてみましょう。

	チェック欄
トイレのしつけができていますか	
ケージに入っていることができますか	
他人が触っても大丈夫ですか	
他の動物がいても興奮しませんか	
飼い主と離れていても大丈夫ですか	
各種の予防接種を受けていますか	
登録をしていますか (犬のみ)	
狂犬病予防注射を毎年受けていますか (犬のみ)	
鳴き声や糞尿などで、ご近所に迷惑をかけていませんか	
災害時のペットの取り扱いについて、ご近所とコミュニケーションをとっていますか	

環境省は、東日本大震災での経験を踏まえ、家庭動物などのうち、主に犬や猫などのペットを対象に、ペットと同行避難することを想定した「災害時におけるペットの救護対策ガイドライン」を作成しました。

[http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/aigo/2\\_data/pamph/h2506.html](http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/aigo/2_data/pamph/h2506.html)

本市でもこのガイドラインを基に同行避難について検討を進めています。